

29年10月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成29年 10月1日～ 29年10月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
10月分の回答企業数は44社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)=[「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)−(「減少」の評価を行った回答の割合)×2−(「やや減少」の評価を行った回答の割合)]÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/10月	11月	12月
仕入動向	国産材	5.6	4.2	△ 10.0
	外材	7.3	△ 3.7	△ 11.5
販売動向	国産材	6.9	6.9	△ 4.4
	外材	9.8	1.2	△ 2.6
在庫動向	国産材	△ 7.1	△ 4.3	△ 3.0
	外材	0.0	△ 5.3	△ 4.2

・国産材の仕入動向は10月、11月の増加から12月は減少に。外材は10月の増加から11月、12月は減少に。

・販売動向は国産材、外材とも10月、11月の増加から12月は減少に。

・国産材の在庫動向は3カ月連続減少。外材は10月の横ばいから11月、12月は減少に。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	29/10月	11月	12月
スギ正角(グリーン)	3.8	1.9	0.0
スギ正角(KD)	12.1	6.9	3.7
ヒノキ正角	8.3	8.3	1.8
ヒノキ土台角	13.8	17.2	10.7
米ツガ正角(現地挽)	22.9	12.5	6.5
米ツガ防腐土台角	18.0	8.0	4.0
米ツガ割物(現地挽)	18.8	8.3	6.8
米マツ平角	35.0	13.3	14.3
北洋アカマツタルキ(現地挽)	0.0	4.7	3.4
ホワイトウッド集成管柱	11.3	6.5	5.2
レッドウッド集成平角	23.2	10.7	11.1
型枠合板(輸入)	35.7	23.2	20.0
針葉樹構造用合板	31.5	20.4	20.8
針葉樹構造用合板(厚物)	36.0	24.0	19.6

・スギ正角はグリーン・KDとも保合い。
・ヒノキ正角は保合い、土台角はやや強含み。
・米ツガは正角(現地挽)、土台角、割物とも保合い。
・米マツ平角は強含み。
・北洋アカマツタルキ(現地挽)は保合い。
・ホワイトウッド集成管柱は保合い、レッドウッド集成平角はやや強含み。
・型枠合板(輸入)、針葉樹構造用合板とも強含み。